

保健師・助産師合同研修会を開催しました

令和6年8月25日(日)に出雲朱鷺会館にて、保健師・助産師合同研修会を開催しました。県内の病院、行政、教育機関、助産院、診療所、学生など28名の参加をいただきました。

今回のテーマは、「子育てにおける切れ目ない支援の強化に向けて保健師と助産師ができること」とし、島根県健康福祉部健康推進課 課長補佐 細田舞氏に「島根県の母子保健の課題と今後の取り組み」についてご講演いただきました。時代背景に伴った問題や課題が明確になり、父親支援やプレコンセプションケア(将来の妊娠を考えながら、女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと)の必要性を強く感じました。



活動報告では、助産師の立場から～比良助産院の比良静代氏、保健師の立場から～松江市こども子育て部こども家庭支援課の富村桂子氏にお話いただきました。父親や祖父母、在日外国人、ひとり親家庭、流死産の方のサポートなど、開業助産師ならではの個別的で丁寧な関わりを学ぶことができ、今後の母子支援活動を見つめ直す良い機会となりました。また、こども家庭センターが設置されたことにより相談窓口が一本化され、様々なサービスにつながりやすくなり、早期の支援や予防を図ることができることができます。ハイリスクだけでなく、潜在的なリスクを持つ母子にも目を向ける重なる役割を担っている重要な機関であり、今後も協力し合い支援体制の強化につなげていきたいです。



今後も、多職種同士で顔の見える関係作りを目指し、母子のニーズに合った支援を見出すための研修会を企画できればと考えています。引き続きご協力お願いいたします。



「困っていることや知りたいことが聞けてよかったです。」

「勉強になりました。」 「刺激になりました。」

「意見交換できる機会がもっとあればいいな。」

～顔の見える関係作り～

活発な意見交換ができました！

